メガネレンズ取扱説明書

このたびは、弊社のレンズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。安全に正しくご使用いただくために、この説明書は必ずお読みください。また、いつでも読み直せるように大切に保管してください。小さなお子様には、保護者の方が読んでわかるように説明してください。

HOYA ビジョンケアグループ
お客様相談室

2013年4月改訂
J13A591119-0238

メガネのご相談は

ご購入店または下記のHOYA ビジョンケアグループ「お客様相談室」までご相談ください。

受付　平日の午前10時から午後5時まで
（土・日・祝日及び年末年始休を除く）

HOYA ビジョンケアグループ
お客様相談室

0120-22-4080
(IP電話・PHS) 03-6738-1590

●表示とその意味

⚠ 警告	誤った取扱をした時に重傷、失明など重大な結果になる可能性があることを示しています。
⚠ 注意	誤った取扱をした時に障害を負う可能性や物的損害の発生が想定されることを示しています。
⚠	一般的な注意が必要なことを示しています。
禁止	特定の行為の禁止を表します。
指示	特定の行為の義務づけを表します。

お客様メガネデータ

ご購入日　　年　月　日　受付No
商品　Rレンズ
　　Lレンズ
カラー濃度
特性　カテゴリー　□運転不適合　□夜間運転不適合
度数　Rレンズ　S　C　AX　ADD
　　Lレンズ　S　C　AX　ADD
加工指定等
店名
TEL

⚠ 警告

レンズ一般に関するご使用上の注意

保護具と併用

●強い衝撃や固いものとの接触はお避けください
ガラスレンズや、耐擦傷性の処理をしたプラスチックレンズでも強い衝撃があればキズがついたり、破損することもあります。破片で目や顔に重症を負う可能性があります。サッカー、野球など強い衝撃が予想される場合は、ゴーグルなど保護具と併用してください。

禁止

●太陽や強い光を直視しないでください
カラーレンズの濃淡や紫外線カットの有無にかかわらず、太陽や強い光を直視しないでください。目に重症を負ったり、失明に至る場合もあります。

カラーレンズのご使用上の注意

禁止

●視感透過率8%以下のカラーレンズは運転に使用しないでください
視感透過率8%以下のレンズは、昼間でも光量不足で視力が低下する場合があり、大変危険ですので、運転には使用しないでください。
※フォトクロミックレンズは低温では視感透過率8%以下になる可能性があります。

禁止

●視感透過率75%未満のカラーレンズは夜間、夕暮れ時の運転に使用しないでください
視感透過率75%未満のレンズは、光量不足で視力が低下する場合があり、夜間や夕暮れ時の運転には使用しないでください。

禁止

●青、緑、赤などの特殊カラーレンズは運転に使用しないでください
青、緑、赤などのカラーレンズは信号が識別しにくくなりますので運転には使用しないでください。

⚠ 警告

紫外線によって発色するフォトクロミック(調光) レンズ（サンテック、トランジションズ）のご使用上の注意

禁止

●太陽光や紫外線で色が変わるフォトクロミックレンズはトンネル内や夕暮れ時は危険です
色が濃くなった状態から淡くなるまで時間がかかります。トンネル内や屋内駐車場等の暗い場所や、夕暮れ時は視力が低下しますので、使用しないでください。

フォトクロミック（調光）レンズの製品特性

●調光レンズの濃度は紫外線の強さや温度により左右されます
強い紫外線を受けると発色が促進されますが、温度が高くなると発色が抑制されます。紫外線が強くても温度が高い夏季などでは、わずかに色付く程度にしか発色しない傾向にあります。夏季にまぶしさを防ぐ場合には別途サングラスの併用をおすすめします。

●傘や帽子で紫外線を遮ったり、紫外線カットガラスに覆われた車の中では、調光レンズは濃くなりません

●調光レンズは紫外線の影響で徐々に経年劣化し、濃度の低下や、色調の変化を生じます
レンズ表面のキズが劣化を促進する場合がありますので、お取り扱いにはご注意ください。

●気温の低い冬季では、一般に夏季より色が濃くなり、退色に時間がかかります

●フォトクロミックレンズは発色の程度にかかわらず、紫外線をほぼ100%カットしています

⚠ 注意

レンズ一般に関するご使用上の注意

保護具と併用

●特殊作業の保護機能は持っていませんので、専用保護具と併用してください
本製品は目の屈折を補正するメガネレンズです。衝撃や溶接作業、レーザー光線、X線などから目を守る機能はもっておりませんので、これらの場合は必ず専用保護具と併用してください。

禁止

●UVカットレンズでも業務用保護メガネとしては使用できません
UVカット加工は、通常使用の状態での紫外線をカットするための加工であり、業務用の紫外線保護メガネとしては使用できません。

●運転や操縦などはメガネに慣れてから行ってください
慣れないうちの運転や操縦は、見る位置によりぼやけて見えたり、距離感がつかめず危険です。万一慣れない場合は、購入店に改めてご相談ください。

禁止

●傷んだレンズは使用しないでください
レンズのキズ、ヒビ割れ、コートはがれなどにより見え方に異常を感じたら、直ちに使用を中止してください。乱反射で見えにくくなることがあります。特に夜間の運転には使用しないでください。
※レンズのキズ、ヒビ割れ、コートはがれは、修復（修理）することができません。

ヒビ割れ

禁止

●プラスチックレンズを高温（55度以上）にさらさないでください
高温にさらされたり、急激な温度差にあうと、コート膜にヒビ割れを生じる原因となります。また熱によって、レンズが変形しフレームから外れたり度数が変化し見え方に影響を及ぼすことがあります。
・メガネを熱湯で洗ったり、ヘアードライアー、ファンヒーターなどの熱風にあてないでください。
・メガネを熱いアイロン、ストーブ、火の付いたタバコなど高温の物に近づけないでください。
・炎天下の車の中や砂浜は高温になりますので、メガネを放置しないでください。
・サウナの中には持ち込まないでください。
・メガネレンズはそのままの状態で太陽光のあたる場所に置かないでください。

●化粧品や化学製品がついた場合は、すぐに水で洗い流してください
カビ取り剤、薬剤（トイレ・浴用洗剤）、アルカリ系洗剤、酸性洗剤、化粧品、整髪料、ヘアスプレー、汗、レモンなどの果汁がついた時は、すぐに水洗いをしてよく落として拭き取ってください。
そのままにしておきますと、レンズにシミなどが残り、取れなくなったり、コートがはがれたりします。

●水ヤケの防止
レンズが水に濡れたときは、すぐに拭き取ってください。そのまま放置され乾いてしまうと水跡がシミとなって取れなくなったり見えにくくなったりします。

⚠ 注意

偏光レンズ特有のご注意（アクティブシリーズ）

禁止

●携帯電話、パソコン等の液晶画面が角度によっては見えにくくなります。ご注意ください

禁止

●車のご注意
自動車ガラスの種類によっては、ガラスが強化されているため、偏光レンズ使用でガラスの歪みまで見える場合があります。その場合は視界が悪くなりますので使用しないでください。

禁止

●水や超音波洗浄器には漬けないでください
濡れたときもすぐに拭き取ってください。水分の影響により変質し、使えなくなる場合があります。

メガネの正しい取り扱い方

●掛ける時
テンプル（つる）をきちんと開いて、顔に添わせながら両手で正面より、ゆっくり掛けてください。
この時テンプルの先で目や顔を突かないよう、ご注意ください。

●はずす時
テンプル（つる）を持って、顔に添わせながら、両手で正面よりゆっくりはずしてください。
※片手での掛けはずしやテンプル（つる）を強くひろげたりしますと、レンズに強い変形歪を起こし、コートにヒビ割れが発生することがあります。また、レンズあるいはフレームの破損、変形、ゆるみ等の原因となりますのでご注意ください。

●置く時
レンズ凸面を上向きにして、置いてください。
下向きにして置きますと、レンズにキズが入る原因となります。

●拭く時
拭く方のレンズの外側を持って、レンズ専用メガネ拭きで、サンドイッチをつまむ位の力でそっと拭いてください。拭く方の反対側を持ったり、力を入れすぎたりしますとフレームやレンズが破損することがあります。

●縁なしフレーム（ツーポイントフレーム）は特に丁寧に扱ってください
ツーポイントフレームは、レンズの外周がむき出しになっていることと、レンズに穴をあけているため、レンズ縁のあるフレームと比較して、レンズが割れる可能性が高いフレームです。丁寧に取り扱ってください。

●レンズにゴミやホコリ等が付着している時
まず水洗いをして、ティッシュペーパーで水気を取ってから、定期的に洗浄したレンズ専用メガネ拭きで拭いてください。乾拭きしますと、キズの原因となります。

●汚れがひどい時
中性洗剤を薄めた液で洗ってください。そのあと水洗いし、前項と同様に拭いてください。
アルカリ系、酸性の洗剤は使用しないでください。コートがはがれる原因となります。

●超音波洗浄器ご使用の時
1分以内を目安に、メガネを水中で揺らしながらご使用ください。
べっ甲枠などフレームの素材や形状により超音波洗浄器をご使用いただけない場合があります。

●持ち運びする時、保管する時
持ち運びする際や使用しない場合は、手入れをしたうえで、レンズ部を保護するように布でくるむなどして、メガネケースに入れてください。また、保管の際は、防虫剤、洗剤、化粧品、整髪料、薬品等の入った場所に保管しないでください。レンズ、フレームの変質、変色、劣化の原因となります。

●汚れが拭きとりやすい「VPコート」や「SFTコート」、「VGコート」付きのレンズのお手入れ
市販のクリーナーや洗剤等のご使用の際は、クリーナー等の成分がレンズ面に残らないようお拭き取りください。クリーナー等の成分が残りますと、VPコートやSFTコート、VGコートのレンズ表面のすべり感が低下することがあります。そのような場合はクリーナー等の成分をよく洗い落とすことにより、元のすべり感が戻ります。

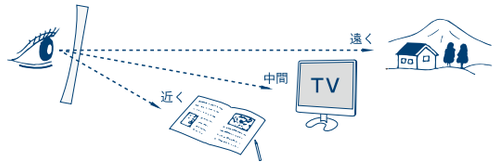
メガネレンズは説明が必要な製品です！

メガネレンズを少しでも永くご使用いただくために、購入店よりメガネの正しい取扱い方や商品特性、アフターケアなどの各種説明を受けられることをおすすめします。

定期点検のおすすめ

レンズコートは非常に薄い膜です。例えキズつきにくいコートが施されておりましても、お取り扱いによっては、購入直後でもキズやヒビ割れが発生することがあります。フレーム、レンズともに経年変化によって素材が劣化したり、度数が合わなくなる場合もありますので、変形や不具合が生じたときは、購入店にご相談ください。またフレームの「鼻当て」や「溝掘りフレームのナイロン糸」「耳当ての樹脂」などは消耗品です。必要に応じて、買い換えてください。
一年を目安に購入店で定期的に点検を受けてください。

累進屈折力（境目のない遠近両用）レンズ



レンズ上部の遠くを見る部分から、下部の近くを見る部分まで連続的に度数が変化しています。
遠く、中間、近くに視線を上下することにより、快適な視界を得ることができます。

⚠ 注意
●見え方に慣れないうちは、レンズの側方部にゆれ、ゆがみを感じることがあります。

⚠ 注意
●車の運転時には、遠くから近くまでいろいろな条件での視野が必要です。レンズに慣れてから、行ってください。

⚠ 注意
●階段の昇り降り、段差のある場所で近用部（下部）を使用しますと、ピントが合いにくく危険です。レンズの遠用部（上部）でご覧ください。

二重焦点（境目のある遠近両用）レンズ

レンズは、遠用部と近用部からなっています。遠くを見る時は遠用部、近くを見る時は近用部を通して見てください。

⚠ 注意
●レンズの境目は急激に見え方が変わり遠近感をくるわせます。ご注意ください。

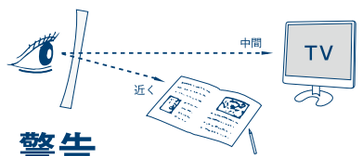
⚠ 注意
●車の運転時には、遠くから近くまでいろいろな条件での視野が必要です。レンズに慣れてから、行ってください。

⚠ 注意
●階段の昇り降り、段差のある場所で近用部（下部）を使用しますと、ピントが合いにくく危険です。レンズの遠用部（上部）でご覧ください。

室内用レンズ

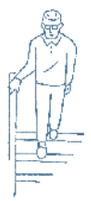
室内用レンズ
（中近レンズ）

視線を上下することにより、中間距離から近くまで連続的に見ることができます。



⚠ 警告
禁止
●距離が離れるほど見えにくくなります。乗り物の運転や操縦には絶対に使用しないでください。

⚠ 警告
禁止
●屋外作業やスポーツなどに使用しないでください。

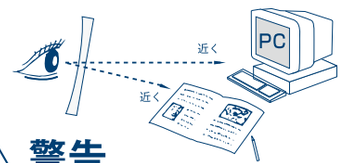


⚠ 注意
●階段の昇り降り、段差のある場所で近用部（下部）を使用しますと、ピントが合いにくく危険です。レンズの遠用部（上部）でご覧ください。

デスクワーク用レンズ

デスクワーク用レンズ
（近近レンズ）

近く専用レンズです。
見える範囲はレンズの種類や度数等によって異なります。



⚠ 警告
禁止
●距離が離れるほど見えにくくなります。乗り物の運転や操縦には絶対に使用しないでください。

⚠ 警告
禁止
●屋外作業やスポーツなどに使用しないでください。

⚠ 警告
●室内でも、階段の昇り降り、段差のある場所では、ピントが合いにくいので、使用しないでください。

※眼鏡を使用し運転される場合には、運転可能な視力が出ていることをご確認ください。